

No.	012 — 1025	事務事業名	集落支援事業								公的関与	9		
P L A N	課名	地域活力創出課	係名	地域振興係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp						
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	平成 27 年度	～	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	5 みんなでつくる協働・自立のまち	政策項目	3 地域コミュニティの育成		主要施策	3 コミュニティ活動の活性化支援						
	事業の目的	人口減少及び高齢化の著しい地域等における集落の維持・活性化を図るため。				根拠法令等								
	事業の手段	集落の点検や状況把握、行政と地域との連携調整を行うとともに、住民間の話し合いの場を通じて必要とされる施策を見いだせるよう支援します。				掲載計画	第2期東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略							
	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由				単位	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標			
		設置人数	過疎地域等の集落対策のために活用する人材の数				人	目標	5	5	5	5		
								実績	4	4				
							回	目標	120	120	100	120		
	活動回数	過疎地域等の集落対策を推進するための活動数					実績	52	56					
					目標									
					実績									
活動内容	①	集落支援員の設置				④								
	②	集落巡回、状況把握、話し合いの支援、維持・活性化に向けた取組				⑤								
	③													
D O	予算費目	会計	一般会計			費目名	総務				費			
	直接事業費		令和 5 年度決算	令和 6 年度決算			令和 7 年度予算					備考		
		国・県支出金	0 千円			0 千円			0 千円					
		地方債	0 千円			0 千円			0 千円					
		その他特定財源	0 千円			0 千円			0 千円					
		一般財源	416 千円			452 千円			822 千円					
	計(A)	416 千円			452 千円			822 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.115 人	729 千円	0.079 人	509 千円	0.079 人	509 千円						
		臨時職員工数・経費	0.067 人	140 千円	0.080 人	179 千円	0.080 人	179 千円						
	全体事業費(A+B)	1,285 千円			1,139 千円			1,509 千円						
C H E C K · A C T I O N	一次評価者	地域振興係	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	今後益々人口減や高齢化が進む過疎集落等の地域課題に対し、地域と行政をつなぐ役割として、また地域の課題解決に向けた体制作りや話し合いの支援を行う集落支援員は必要不可欠な存在であると考えます。												
	有効性	支援員の活動内容について、地域ごとに貢献度や効率性が高いものを精査し、具体的な内容を示すことにより、活動しやすい環境を整備でき、さらに効果的な事業になり得ると考えます。												
	達成度	地域運営組織による取組により地域の活性化が図られ、一定の成果を得られている集落もありますが、更に集落課題の改善に対する明確な目標の再設定や他の集落への波及を図る必要性を感じています。												
	効率性	行政による過疎集落への目配りが、必ずしも十分に行なうことが困難である懸念もあることから、地域の実情に詳しい人材を活用し、市と地域を繋ぐ役割としての効率性が期待されます。												
	当面の課題	今後益々深刻化していく人口減や高齢化が進む過疎集落等の地域課題に対して、行政のみによる対策には限界が懸念される中、地域の住民主導による地域課題の点検や整理、地域づくりに向けた活動をさらに活性化する必要があると考えます。												
	改革計画	地域の実態に応じた集落の維持・活性化対策そのための集落支援員の活動について、より貢献度や効率性が高いものを精査し、活動内容を具体的に示すなど、さらに活動回数を増やすよう支援していきたいと考えます。												
	二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
	二次評価での指摘事項	集落支援員は、導入地域においては重要な役割を担っていますが、その業務内容が地域性や活用人材などによって左右される点があるため、改革計画にもあるとおり、活動目的や内容などの一定の設定基準などを明確にして取り組んでください。												

No.	012	—	1026	事務事業名	地域おこし協力隊導入事業								公的関与	8												
PLAN	課名	地域活力創出課	係名	地域振興係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp																		
	事業区分	ソフト事業	事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	平成 28 年度 ~	令和7年度																	
	総合計画	政策目標	5 みんなでつくる協働・自立のまち	政策項目	3 地域コミュニティの育成	主要施策	4 コミュニティビジネスの支援																			
	事業の目的	地域おこし協力隊を受け入れた地域の集落維持及び活性化と協力隊の定住のため。			根拠法令等	東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略																				
	事業の手段	地域おこし協力隊の受入れを希望する地域、団体等と調整を図った上で、都市地域等へのPR活動を含めた募集を行い、選考、委嘱を経て隊員が円滑に活動できるよう支援します。			掲載計画																					
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標															
		集落維持・活性化に取り組む地区		総合戦略KPI			地区	目標	5	5	5	5														
		地域おこし協力隊設置		総合戦略KPI			人	目標	5	5	5	5														
								目標																		
DO	活動内容	①	地域おこし協力隊の選考、受入			④																				
		②	地域おこし協力隊の活動支援(補助金、面談、調整)			⑤																				
		③	地域おこし協力隊の起業支援																							
	予算費目	会計	一般会計			費目名	総務			費																
	直接事業費		令和 5 年度決算	令和 6 年度決算		令和 7 年度予算	備考																			
		国・県支出金	500 千円	0 千円		0 千円																				
		地方債	0 千円	0 千円		0 千円																				
		その他特定財源	0 千円	0 千円		0 千円																				
		一般財源	16,481 千円	22,424 千円		37,146 千円																				
	人件費(B)	計(A)	16,981 千円	22,424 千円		37,146 千円																				
		正職員工数・経費	0.966 人	6,121 千円	0.942 人	6,065 千円	0.942 人	6,065 千円																		
		臨時職員工数・経費	0.054 人	113 千円	0.054 人	121 千円	0.054 人	121 千円																		
CHECK・ACTION	全体事業費(A+B)		23,215 千円	28,609 千円		43,331 千円																				
	一次評価者	地域振興係	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持												
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)																								
	必要性	地域やアート・ヴィレッジなど構想が抱える問題への人的サポートと将来の定住希望者の呼び込みの面から必要な施策です。導入地区やタイミングに関しては関係者からヒアリングを重ね、ミスマッチを防ぐ必要があります。																								
	有効性	行政ではできなかった柔軟な地域おこし策が可能で、住民が増えることによる地域の活性化に有効な制度である一方、将来の定住に向けた隊員の意思とサポート体制が必要です。																								
	達成度	任期終了後の市内への定着率は全国平均をわずかながらも上回っており、住宅購入者や結婚による定住者もいます。今後もニーズに応じて随時募集を行います。																								
	効率性	事務が煩雑にならないよう適切に処理する必要があります。しかし、地域と人材のマッチング事業としての側面があるので、多少非効率だとしても丁寧な伴走型支援を行うことも必要です。																								
	当面の課題	中山間地域における地域運営組織の人的サポートとして協力隊の活動は必要です。アート・ヴィレッジなど構想推進や空き家活用推進のためにも本制度を積極的に推進します。国は地域おこし協力隊員の増員を推進しており、今後、他市町の導入事例を参考にしながら拡充を検討する必要があります。																								
	改革計画	地域おこし協力隊を導入する地域を広域化し、地域運営組織の設立及び自立化に向けて伴走支援を行います。また、他課との連携に向けた導入受入を強化するための職員研修などの実施を検討します。																								
	二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持												
	二次評価での指摘事項	地域おこし協力隊に対する日常的なサポートとして、受入団体との連携によるコミュニケーションを図りながら、隊員の主体的な活動や将来的な定住に向けた支援に配慮してください。他課への新たな地域おこし協力隊の導入に関しては、制度目的の理解や責任、役割意識についての理解や覚悟が重要となることから安易な受入とならないよう十分な検討を重ねてください。																								

No.	012 — 1065	事務事業名	アートヴィレッジとうおん創生事業										公的関与	1	
P L A N	課名	地域活力創出課	係名	地域振興係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp							
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	平成 28 年度	～	令和7年度				
	総合計画	政策目標	5 みんなでつくる協働・自立のまち	政策項目	4 市民と行政との協働のまちづくりの推進	主要施策	1 協働のまちづくりの総合的推進								
	事業の目的	文化芸術を通した市内全域への交流人口の拡大、市の認知度向上及び移住促進のため。					根拠法令等								
	事業の手段	東温市移住定住促進協議会の実施事業に対する支援を行います。					掲載計画	第2期東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略、アート・ヴィレッジとうおん構想、東温市移住定住促進マスターplan							
	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由				単位	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標				
		東温アートヴィレッジフェスティバル参加者数	イベントを通じた交流人口の増加を確認するため				人	目標	1,772	2,000	2,000	2,000			
								実績	1,858	4,873					
								目標							
								実績							
D O	活動内容	①	東温市移住定住促進協議会への支援				④								
		②					⑤								
		③													
	予算費目	会計	一般会計			費目名	総務					費			
	直接事業費		令和 5 年度決算			令和 6 年度決算		令和 7 年度予算			備考				
		国・県支出金	0 千円			0 千円		0 千円							
		地方債	0 千円			0 千円		0 千円							
		その他特定財源	3,390 千円			1,320 千円		1,310 千円							
		一般財源	11,454 千円			16,195 千円		10,206 千円							
	計(A)	14,844 千円			17,515 千円		11,516 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.677 人	4,289 千円	0.675 人	4,346 千円	0.675 人	4,346 千円								
	臨時職員工数・経費	0.054 人	113 千円	0.059 人	132 千円	0.059 人	132 千円								
全体事業費(A+B)	19,246 千円			21,993 千円		15,994 千円									
C H E C K · A C T I O N	一次評価者	地域振興係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	民間委託等	
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
	必要性	市の総合戦略事業として位置付け、市内外からのニーズも高い必要な事業です。													
	有効性	他に類似事業がなく、全国的な発信力も高い有効な事業です。													
	達成度	令和6年度は東温市誕生20周年記念事業として事業の充実に努めた結果、設定目標を大きく上回る参加者が得られました。													
	効率性	助成金を活用する等、財源確保に努めていますが、通年でイベントを実施するため事務量が多くなっていることから、実施手段の効率化を図っていく必要があります。													
	当面の課題	令和7年度末をもって本事業の根拠であるアート・ヴィレッジとうおん構想の計画期間が満了となることから、本事業の在り方について検討する必要があります。													
	改革計画	成果検証の結果に基づき、市の更なる発展を目指すための新体制の構築に取り組みます。													
二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	民間委託等		
二次評価での指摘事項	計画期間が満了となるアート・ヴィレッジとうおん構想の成果検証の結果に基づき、一過性ではない持続的な地域振興にも繋がる要素を踏まえた新たな方向性を検討し、計画的かつ継続的な推進を目指してください。														

No.	012 — 3033	事務事業名	中小零細企業販路拡大マッチング事業								公的関与	9		
P L A N	課名	地域活力創出課	係名	企業振興係	電話番号	899644414		メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度	～	期間設定なし				
	総合計画	政策目標 3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち	政策項目 2 商工業の振興			主要施策	2 産業振興体制の確立・中小零細企業の経営基盤の強化							
	事業の目的	中小零細企業の商品の販路開拓・拡大、プラスチックアップ及び事業者のプレゼン能力の向上を図るため。				根拠法令等	東温市中小零細企業振興基本条例							
	事業の手段	松山圏域連携により中予の3市3町が共同し、実行委員会を立ち上げ、大手流通業バイヤーによる「逆」商談会を開催します。				掲載計画								
	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由			単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標				
		買い手企業招聘数	商談機会の提供が目的であるため			目標	40	40	40	40				
						実績	34	37						
		商談件数	商談機会の提供が目的であるため			目標	300	300	300	300				
	実績					262	336							
売り手事業者数	多くの中小零細企業に利用いただくことが必要であるため			目標	40	40	40	40						
				実績	34	43								
活動内容	①	市内中小零細企業への周知、参加募集				④								
	②					⑤								
	③													
D O	予算費目	会計	一般会計			費目名	商工				費			
	直接事業費		令和5年度決算		令和6年度決算		令和7年度予算		備考					
		国・県支出金	0千円		0千円		0千円							
		地方債	0千円		0千円		0千円							
		その他特定財源	0千円		0千円		0千円							
		一般財源	150千円		150千円		150千円							
	計(A)	150千円		150千円		150千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.055人	348千円	0.055人	354千円	0.055人	354千円						
臨時職員工数・経費		0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円							
全体事業費(A+B)		498千円		504千円		504千円								
C H E C K · A C T I O N	一次評価者	企業振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	地方の中小零細企業が都市部の商談会に参加するための人件費や経費をかけることなく、流通業界のトレンドを知ることができる機会であり、松山圏域連携により取り組んでいる事業として定着しています。												
	有効性	商談件数が増加しており、商品のプラスチックアップやプレゼン能力の向上につながるとともに、全国規模のシェアを獲得できる機会の提供に繋がっています。												
	達成度	市内金融機関や市商工会と連携し、事業所に周知を行っており、概ね各市町の規模の割合に応じた参加数ですが、令和6年度は本市事業所の参加が前年より少なくなっています。												
	効率性	松山圏域連携中枢都市構想の一環として共同で取り組んでいるため、効率的に実施が出来ています。												
	当面の課題	バイヤーとのマッチングを図るため、対象業種を食品等関連に限定していることから、他の業種の参加ができません。参加事業所の拡大のため、連携市町と協議し、対象業種の拡大に向けた検討が必要です。												
	改革計画	実行委員会に課題解決に向けた提案を行うとともに、連携市町と調整し、次年度以降の実施内容の検討を行います。												
	二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項		松山圏域の中小零細企業が売り手事業者として直接売り込みをかけることができる商談会に参加することで、製品のプラスチックアップやプレゼン能力の向上に繋げる機会にもなる貴重な取組であることから、事業を継続する中で事業趣旨に沿った更なる成果に繋がるよう連携市町との協議・調整を図ってください。												

No.	012 — 3043	事務事業名	中小零細企業まるごと応援事業								公的関与	9			
P L A N	課名	地域活力創出課	係名	企業振興係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	chikaso@city.toon.lg.jp							
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度	～	期間設定なし					
	総合計画	政策目標 3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち	政策項目 2 商工業の振興			主要施策 3 産業支援・研究開発体制の整備									
	事業の目的	中小零細企業の発展や地域活性化のため。				根拠法令等	東温市中小零細企業振興基本条例								
	事業の手段	中小零細企業が実施する様々な取組に対して補助をします。				掲載計画	東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略								
	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由				単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標				
		補助件数	多くの中小零細企業に利用いただくことが必要であるため				件	目標 30	30	30	50				
		補助金額	予算上限額に応じ、最大限活用することが必要であるため				千円	目標 6,000	7,000	8,000	10,000				
							実績 5,605	6,432							
	活動内容	① 団体を通じた中小零細企業への周知					④								
② 中小零細企業からの申請受付件数						⑤									
③															
D O	予算費目	会計	一般会計			費目名	商工				費				
	直接事業費		令和5年度決算		令和6年度決算		令和7年度予算				備考				
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円								
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円								
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円								
		一般財源	5,605 千円		6,432 千円		8,000 千円								
	計(A)	5,605 千円		6,432 千円		8,000 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.607 人	3,846 千円	0.607 人	3,908 千円	0.607 人	3,908 千円							
全体事業費(A+B)		9,451 千円		10,340 千円		11,908 千円									
C H E C K · A C T I O N	一次評価者	企業振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実	
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
	必要性	市内中小零細企業が地域資源や地域の特性を生かした商品やサービスに係る取組を支援する事業であり、人材確保やデジタル化等経営環境が厳しさを増す中で、市内中小零細企業からのニーズが非常に高い事業です。													
	有効性	市内中小零細企業の様々な課題に対し、ニーズに合わせた支援を行う補助メニューを毎年見直しており、事業費の1/2を上限に支援することにより、成果が期待できます。													
	達成度	毎年、年度前半で補助申請額が予算額に達し、目標件数を上回っています。													
	効率性	市商工会等関係団体と連携して、広く中小零細企業に周知し、支援に繋がっています。 団体と繋がっていない事業所にも情報を伝えるため、情報発信プラットフォームの検討の余地があります。													
	当面の課題	物価高騰やデジタル化等の様々な課題を抱えながらも前向きに事業に取り組む市内中小零細企業に対し、更なる支援が必要ですが、中小零細企業のニーズを迅速に捉えて施策に反映するための情報収集や情報発信のプラットフォームの構築を検討する必要があります。													
	改革計画	中小零細企業現状把握調査の実施や円卓会議等を通じた関係団体等との連携により、市内中小零細企業のニーズ把握に努めます。 また、新たな情報発信プラットフォームの構築を検討します。													
	二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実	
	二次評価での指摘事項	物価高騰や人材不足など、中小零細企業が抱える課題に係る支援策としてニーズが非常に高いという結果が表れていることから、引き続き市商工会と連携しながら、より広く制度を周知する方法や支援メニューの更改を検討するなど、更なる事業の充実を図ってください。													